



町長のしごと日記

第86号

～元気で笑顔のあふれる福島町を実現するために～

【3年ぶりの南北駅伝・町民文化祭のご協力に感謝・・・】

各地から初雪の便りが届き、秀峰大千軒岳も雪を頂くようになり、季節はいよいよ冬本番を迎えます。昨年の冬は、ラニーニャ現象により記録的な大雪となりましたが、今年の冬も日本気象協会の予測では寒い冬が見込まれております。

十月三十日(日)に第四十回南北海道駅伝競走大会が三年ぶりに開催されました。

コロナ禍の影響で例年に比べ参加チームは減少いたしました。道内各地から参加があり、遠くは十勝管内芽室町から参加をいただいております。

駅伝はタスキをつなぐスポーツであり、中継地点では「ガンバレー、お疲れさま、任せたまよ」と声援や選手の声が響き、全力を出し切った選手のすがすがしい顔を見ることができました。

来年は、当町の駅伝で名物となっている「ちゃんこ鍋・肉まん・あんまん」な

どの無料提供の復活を目指してまいります。大会の運営にご協力いただきました町内会をはじめ、すべてのスタッフの方々に感謝とお礼を申し上げます。

十一月十二日(土)・十三日(日)に福祉センターにおいて「福島町町民文化祭二〇二二」が三年ぶりに開催されました。

初日の舞台部門では、各小学校の児童による合唱が披露され、子どもたちの澄んだ声に癒されました。また、福島中学校吹奏楽部とル・ラピスの合同演奏など楽しませていただき、午後

の部では「沖縄民謡ライブ」で堀内さんが奏でる三線の音色に合わせ、会場が一体となった掛け声や手踊りなど南国特有の温かさに、お客さんも久々に音楽を満喫されておりました。

また、翌日は邦楽・民謡・舞踊のステージで町民の皆様方の自慢ののどや踊りを

拝見し、会場からは「よかつたよ」の声が久々に飛ぶなど来場された多くの方々の笑顔が印象的でした。

例年、十一月は東京都において各種団体等の全国大会が開催されます。

十一月九日(水)に東京都平河町の砂防会館において、「安全・安心の道づくりを求める全国大会」が開催され、参加をいたしました。また、十一月十五日(火)に「全国治水砂防促進大会」、同日、「全国過疎地域連盟第五十三回定期総会」、翌十六日(水)には、「治水事業促進全国大会」へ参加をしております。

十一月十七日(木)には、「全国町村長大会」がホテルニューオータニで開催され、全国九二六町村の首長(町長)が一堂に会しております。来賓として、岸田内閣総理大臣(代理メツセージ)をはじめ細田衆議院議長など多くの衆参国会

議員の方々が出席をしております。

十一月十八日(金)には、北海道主催の『命のみち』づくりを求める東京大会へ参加し、その前段には、国土交通省幹部との道路行政に関する意見交換会、終了後には、道内選出の衆参国会議員への要請活動へ参加をいたしました。大変タイトなスケジュールでしたが、松前半島道路の早期実現に向けて大切な活動であり、国などへ要請をしてきたところでもあります。

論語の「知好楽」という言葉のように、何事をなすにも知っているより、好きである方が勝り、さらに好きにだけより楽しむことができる人が勝つていくということです。行政を進める上でも大切な言葉であり、町民の皆様にも、己が楽しめる人となり、これからも楽しみを生む政に努めてまいります。